



# 牟岐とわたしの プロローグ

京都産業大学 木原ゼミと徳島県牟岐町の歩み



**HISTORY**  
**OF**  
**KIHARA**  
**SEMINAR**



# Outline

## 牟岐とわたしのプロローグ

02\_ What is Mugi? 牟岐町ってどんな場所?

03\_ 牟岐町 MAP

05\_ MUGIgenic ～おすすめスポット&グルメ～

15\_ 町のイベント情報-*Mugistagram*-

インスタ風に牟岐町のお祭り・イベント情報を紹介!

19\_ Voice of MUGIZIN～牟岐人プロフィール～

お世話になった牟岐町の方々を紹介! ゼミ生へのメッセージも!?

27\_ 移住×牟岐 Mugi×immigration

大阪⇒牟岐 先輩移住者にインタビュー企画!

## HISTORY OF KIHARA SEMINAR

30\_ 木原ゼミ 大年表

41\_ 木原ゼミ メンバー紹介

《これまでの主な活動》

43\_ 2018・2019年度 -1期生・2期生-

47\_ 2020年度 -防災・観光・大学生と食-

55\_ 2021年度 -西陣・ファンクラブ・コラボ-

63\_ 2022年度 -ブレンド米パッケージ-

65\_ La Vitaプロジェクト

《コラム》

53\_ 企画交流部

61\_ 実生ゆずとは

67\_ 神山祭

69\_ 合宿日記

71\_ お世話になった方々

～あとがき～

# What is Mugi ?

## 面積

56.56km<sup>2</sup>

## 人口(令和4年12月1日現在)

3,695人

## 平均気温

16.6℃

## 特産品

アオリイカ、実生ゆず、花かつおなど

牟岐町は、徳島県の南端（四国の右下）にある漁師町です。黒潮流れる「室戸・阿南国定公園」のほぼ中心に位置し、沖合には出羽島、磯釣りのメッカ牟岐大島・津島を保有する温暖な気候に育まれています。

## 徳島県



牟岐町の観光スポットへ行ってみよう！

# むぎちょう 牟岐町 MAP





辺川駅

南阿波サンライン

p.10 turn farm

牟岐中学校  
牟岐小学校

牟岐  
少年自然の家

p.7 モラスコむぎ

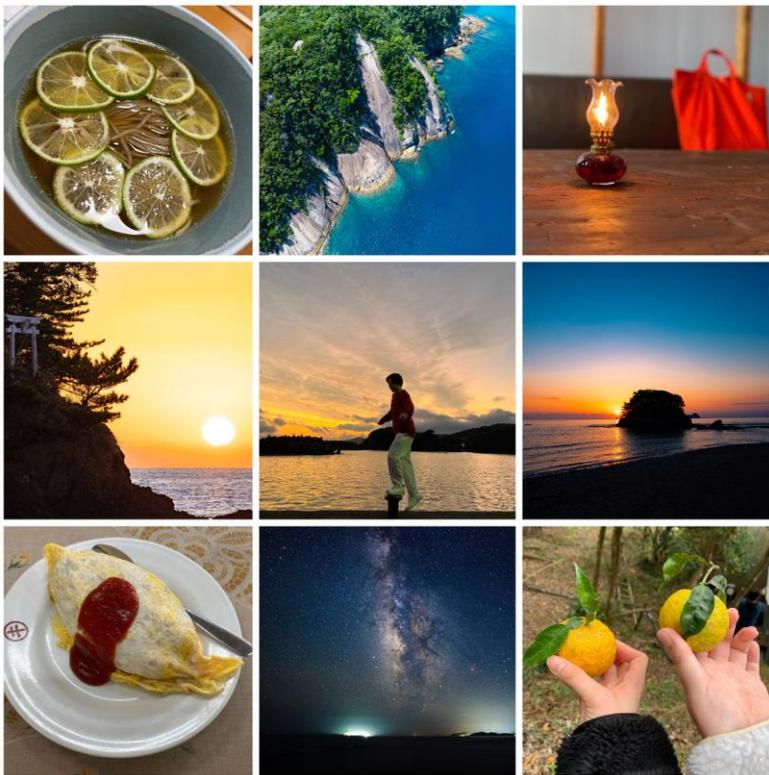
凡例

-  国道
-  主要地方道
-  JR

大島

木原ゼミ生がおすすめする牟岐町～スポット&グルメ～

# MUGI *genic*





## 1

## 出羽島～Teba island～

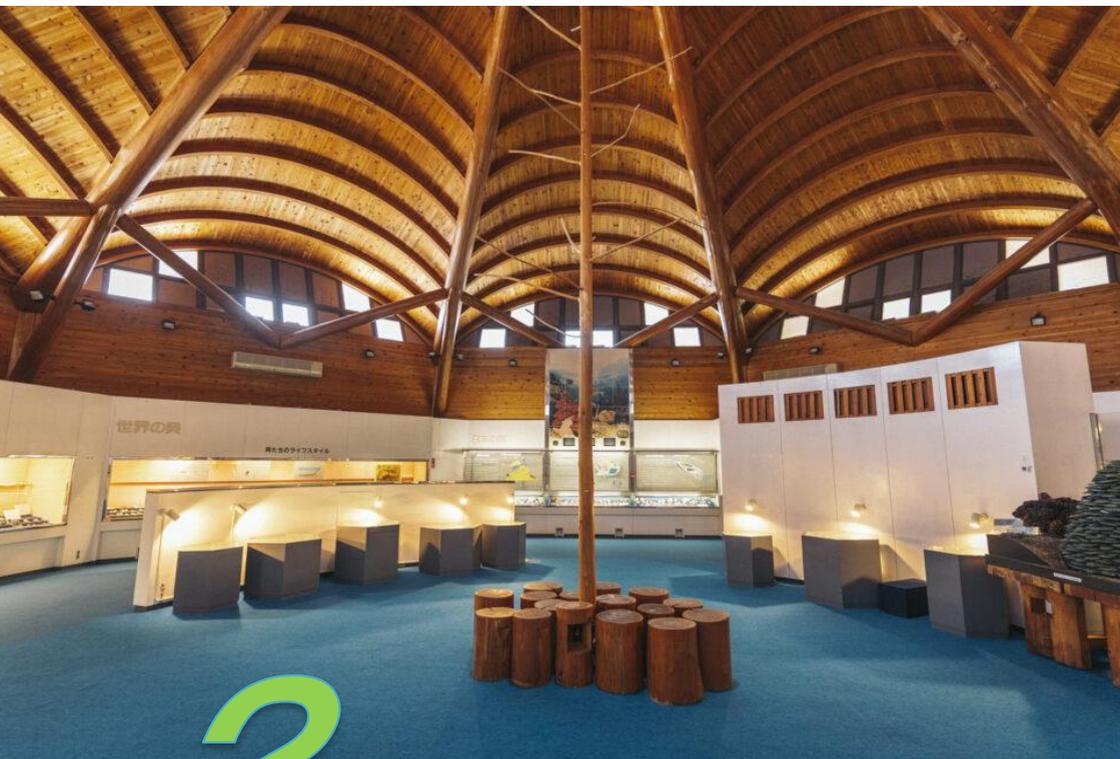
住所：徳島県海部郡牟岐町大字牟岐浦字出羽島

伝統的な建造物が残る出羽島は、入江を利用した港の周囲に集落が形成されています。平成29年には国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。漁業に適する環境から移住する人が多く、現在は68人（令和4年9月現在）が暮らしています。牟岐町本土には「大生丸」という連絡船に乗り約15分の航程で行くことができます。

★おすすめポイント

自然豊かな環境に古い街並みが残っており、出羽島ならではの風景を見ることができます。また車が一台も走っていないので、静かでゆったりとした時間を過ごすことができます。





2

モラスコむぎ~Morasuko Mugi~

住所：徳島県海部郡牟岐町大字灘字下浜辺198-1

モラスコむぎは、ワークライフバランスの多様化により、地方で働くことを可能にする「コミュニティ複合施設」です。自然豊かなロケーションでのコワーキングスペース、コミュニティスペースが用意されており、牟岐町の自然や人との交流を楽しむことができます。

★おすすめポイント

エントランスホールから松ヶ磯に続く浜に直接降りることができるので、海の景色を存分に楽しむことができます。





3

内妻海岸～Uchiduma Coast～

住所：徳島県海部郡牟岐町大字内妻字白木

ビギナーからエキスパートまで楽しめるサーフポイントです。1年を通して波があるため、県内外から多くのサーファーが集まります。シーグラス（海岸等で見つかる角の丸いガラス片）を拾いに来る人もみられます！

★おすすめポイント

青い海と空のコントラストがとても綺麗です。また街灯が少ないので、天気良ければ夜には満天の星空を見ることができます。





## 4

## 正観寺～Shokan Temple～

住所：徳島県海部郡牟岐町大字中村奥前158-1

正観寺は、華厳宗総本山奈良東大寺の末寺で、徳島県は牟岐町、山間の静かな自然に恵まれた環境の中にあるお寺です。大日大聖不動明王様をご本尊としてお祀りしており、「お不動さん」という愛称で親しまれています。

★おすすめポイント

当寺の中には「八大地獄」というスポットがあり、地獄の世界を知ることができます。これを機にあなたも自分の行いを改め、人生を見つめ直してみてもいいかもしれません。



ここは、  
木原ゼミ  
牟岐町拠点。



5 *turn farm* ~ターンファーム~

木原ゼミ生にとって、牟岐町で1番の思い出の場所です。ここには、牟岐町の方々にお世話になっているバナナたちがたくさんいます。ちなみに、牟岐バナナの植樹祭はオンライン合宿の際にturn farmからの中継で行われました。これからも木原ゼミの牟岐町拠点として、また牟岐町に集う学生達にとって魅力溢れる場所になる事を願っています。

★おすすめポイント

turn farmの中には学習ができるワーキングスペースをはじめ、交流しながら遊べる卓球台やビリヤード台などがあります。さらにはキッチンまで完備されており、料理をすることも可能です。私たちはいつかここでキャンプをしてみたいと思っています！



ここは、牟岐駅。  
私たちの旅はいつも  
ここから。



牟岐町ガイド おすすめグルメスポット

5

Recommended gourmet spots

# 1 牟岐55ラーメン



牟岐町で人気のラーメン屋として知られています。小さなお店ながらもメニューは豊富にあります。合宿のたびに行ったことは今も思い出です。牟岐駅から徒歩10分、車で2分。牟岐町に訪れた際は、ぜひ行ってみてください。



住所：徳島県海部郡牟岐町川長字関33-1  
電話番号：090-6280-0565  
営業時間：11:00～14:00、17:00～20:00  
定休日：水曜日 駐車場：あり



2

喫茶 亜梨巣(アリス)

外観は新しく、内装は古き良き昭和の雰囲気が残されている喫茶店です。コーヒーだけでなく、ランチや軽食もある地域密着型のお店です。

住所:徳島県海部郡牟岐町大字中村字本村290

営業時間:9:00~21:00

電話番号:0884-72-2385

定休日:水曜日

駐車場:あり



3 家形船 (やかたぶね)

船をイメージした外装で、中の座席からは海を見渡すこともできます。新鮮なお造りとサクサクの天ぷらセットがとても美味しいです。

住所:徳島県海部郡牟岐町内妻白木34

電話番号:0884-72-1090

営業時間:11:00~20:00

定休日:不定休 駐車場:あり

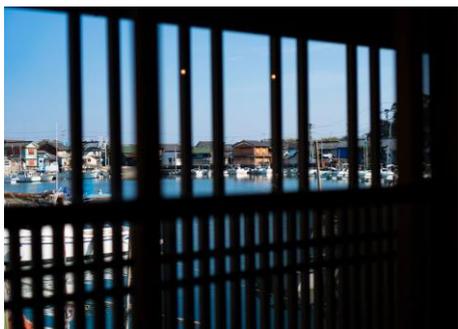




# 4 波止の家 (はとのいえ)

古民家を改修した島の交流施設で、島内で唯一解放されたミセ造りの伝統家屋です。建物の展示と休憩所も兼ねています。また目の前には、出羽島の港があり、島の落ち着いた雰囲気を楽しむことができます。人気メニューは、伊勢海老の味噌汁です。

住所：徳島県海部郡牟岐町牟岐浦  
出羽島2-1  
営業時間：11:00～15:00



# 5 きうち食堂

こじんまりとしていて実家のような温かみのある食堂です。お店の方もとても親しみやすく、気さくに話していただけます。オムライス、安い値段でボリュームがあり、とても美味しいです。しかしながら、2022年12月をもって閉店となってしまいました。長年に渡ってたくさんの方々に愛された食堂です。

住所：徳島県海部郡牟岐町大字  
中村字本村5-25



木原ゼミ生がおすすめする牟岐町～スポット&グルメ～

# FINISH





4  
投稿

134  
フォロワー

33  
フォロー中

## 京都産業大学 木原ゼミ 3期生

ここでは、徳島県牟岐（むぎ）町の年間イベント情報を発信しています！

- 内妻あじさい祭り 6月
- 姫神祭 7月末頃
- 牟岐あんどん展 8月
- 八幡神社秋祭り 10月上旬

## #内妻あじさい祭り

## #姫神祭



# #牟岐あんどん展



# #八幡神社秋祭り

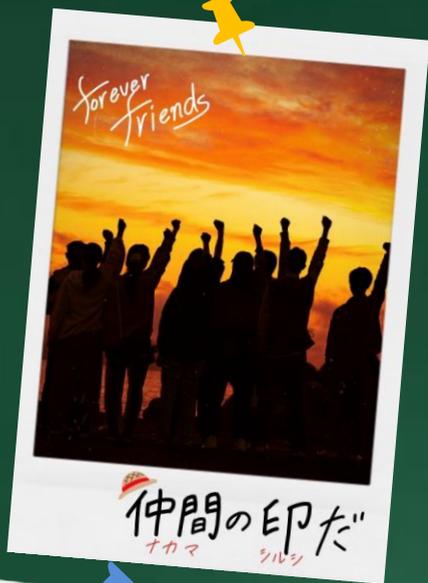


Mugstagram

木原ゼミ アカウトです！是非、フォローお願いします😊



# 木原ゼミ3期生 牟岐町チェキ旅 📷



# Mugi memory



## 木原ゼミ生が聞きました!

- Q1. 休日は何をされていますか?  
 Q2. あなたにとっての牟岐町は?  
 Q3. 牟岐町のおすすめは?

01

### 牟岐町役場 デジタル推進課 青木 広大さん

A1. 子どもと一緒に買い物へ行ったり、Switchをしたりするなど、家族サービスをしています。他にはエギング（アオリイカ釣り）が好きで、釣ったアオリイカを自分で調理してお酒の肴にしています。最近は、柚子胡椒づくりにハマっています。

#### A2. 海・川・山が近い町!

海は歩いてでも行けるほど近く、自分のように釣りが好きな人にはピッタリ! しかも釣ったものを新鮮な状態で食べることができ、都会では味わえない価値があります。また、夏の時期には思い立ったら川へ行って涼しむことも田舎ならではの楽しみです。

A3. やはり星空! 街灯が少ないので、空には満天の星空、流れ星、衛星などがはっきり見え、宇宙を独り占めできる贅沢感があります。



02

### 牟岐町役場 産業課 一山 昌之さん

A1. 休日という概念を持ってなくて、時間があれば知っている人を訪ねて談笑をしています。その中で牟岐町の仕事となるようなことについて意見交換をしたり、地元のお祭りやイベントの企画・運営をさせてもらったりしています。

A2. 田舎なので閉塞的なところもあって心を開かない人も多いのは事実ですが、一度友達になって仲良くなってしまうと、家族のような人情味のある人が多い町だと思います。

A3. 出羽島に行けば一っと時間を過ごすことができたり、大島に行って海水浴とかBBQなどを開放感のあるところできたりするところです。また友達に漁師が多いので、その時採れたアワビや伊勢海老をくれるところです。



# VOICE OF

## 牟岐人 mugizin

03

**専業農家**(牟岐の農業を守る会 代表)  
井上 正規さん

A1. ほぼ休日はないのですが、完全な休日の時は家族と過ごしたり、寝ていたりします。

A2. 牟岐町とは、私にとって一番住みやすい町です。生まれも育ちも牟岐町なので、落ち着きます。

A3. 海です。他には、出羽島、津島、大島は、牟岐町のおすすめスポットです。



04

**牟岐町防災サークルの代表**  
上田 好美さん

A1. 防災サークルの顧問、居場所づくりの活動、図書館の読み聞かせの会、ボランティアなど、やっていることがたくさんあるので、忙しくてたまりません。

A2. ホッとするといいですね。小さい時から町の自然と人に見守られて育ってきたなと思います。

A3. やっぱり海辺がおすすめです。特に砂美の浜とモラスコむぎの近くの小島の浜が好きです。

## 木原ゼミ生が聞きました!

- Q1. 休日は何をされていますか?  
 Q2. あなたにとっての牟岐町は?  
 Q3. 牟岐町のおすすめは?

05

### 牟岐町役場 企画政策課 後山 みどりさん

A1. 最近は番茶に凝っています。各町によって味が異なるので色々なところの番茶を買ってみて、お菓子を食べながら飲み比べをしています。

A2. 生まれ育った町であり現在も住んでいます。子どもが3人いるので、子どもが育った町、そして子育てをしている町でもあります。

A3. 牟岐と言ったら出羽島を推します。島に渡ると牟岐町内とはまた違ったところに来たなと感じ、プチ旅行に来たような気分になります。仕事として行くこともあります、仕事などせずにゆったりしたり、ぼーっと海を眺めたりしたいなと思ってしまふところですよ。



06

### NPO法人 牟岐キャリアサポート 理事長 大西 浩正さん

A1. 大学生や子どもたちの活動に参加しています。

A2. 50歳を過ぎてできたふるさとのような場所です。僕は牟岐町出身ではないのですが、大学生と活動する中で、この場所に頻繁に来るようになってきたふるさとといったようなイメージです。

A3. 牟岐町の素敵なところはたくさんありますが、去年木原ゼミのみんなとオンラインでバナナを植樹し、育ててきたこのturn farmが今のイチオシの場所です。



# VOICE OF

## 牟岐人 mugizin

07

### BLUEHORIZON 代表 木村 悠さん

A1. 自営業をしていると休日という休日はなく、平日はもちろん働かし、土日も働きます。ただ、空いた時間に自分の好きなことであるサーフィンだったり、泳ぎに行ったりしています。

A2. ずっと住んできた地元である牟岐町の知識が多いので、ガイドをする際に知識を活かして牟岐町を紹介できます。自分を活かせる町だと思えます。

A3. 夏から秋にかけての海です。この時期になると熱帯魚も一気に増えてきて、サーフィンもしやすいので一番楽しい時期だと思います。



08

### JAかいふ牟岐事務所 所長 正路 進さん

A1. 元々家が農家なので、農作業を主にしています。野菜でいうと、おくらやブロッコリーなど色々育てています。

A2. 小さな町なので皆さんが和気あいあいとやっているところが大好きです。

A3. 小さい頃から海によく行っていて、潜って魚を捕ったり、釣りをしたりしていました。特に、現在モラスコむぎがあるあたりの浜辺によく行ってたのでそこが大好きです。また南阿波サンラインの展望台から海を眺めるのも好きです。

# VOICE OF

## 牟岐人 mugizin

- Q1. 休日は何をされていますか？  
 Q2. あなたにとっての牟岐町は？  
 Q3. 牟岐町のおすすめは？

09

### JAかいふ牟岐女性部 部長 溜口 幸子さん

A2. 海や山などの景色が素敵で、また海の幸、山の幸も豊富にあり、とても良いところです。

A3. 自分が海の近くで育ったので海辺の景色が大好きで、特に無線局（山の上の鉄塔）から見える景色が出羽島、大島など有名な島が綺麗に見えるので、とても好きです。ウォーキングの際に行く場所でもあります。



10

### 牟岐町役場 企画政策課 中山 拓真さん

A1. 去年からサーフィンを始めたのでサーフィンをしに行ったり、昔から音楽が趣味なのでギターを弾いたり、ドラムを叩いたりしています。

A2. 一言でいえば「ふるさと」です。ここで生まれて22年間、1度も離れることなく過ごしているので、この町無くして自分はいないと思います。

A3. 西の浜、古牟岐の赤い灯台がある場所が好きです。自分は柚子収穫をするあたりの山の出身なので、その辺の山の風景も好きです。グルメでは55ラーメンの旨辛ラーメンと今年（2022年）で閉店してしまうのですが、きうち食堂のチキンカツが好きです。



青木さん

牟岐町に不在の世代である皆さんと一緒に活動することにより、情報感度の高い学生ならではの感性や発想、行動力のおかげで、牟岐町の関係者は皆さんから元気をいただいています。また、京都市内での牟岐町との取組みのご活躍も伺っています。これからも、在学生の皆さんは引き続き牟岐町との関わりを深めていただき、卒業される皆さんは今後も牟岐町との関わりをより一層を深めて、更に牟岐町が元気になる町にしていきましょう！



一山さん

皆さんが牟岐の課題などにひたむきに頑張っている姿に後押しされ、こちらも応援してあげたいと強く感じているので、これからもお互いに学び合いながら関係が続いていけば良いと思っています。また、大学生が牟岐町に関わる時には地域活動という側面がありますが、牟岐町の人と友達になって「ただいま！」と帰ってくるような居場所をたくさん作ってほしいと思います。

こちらこそありがとうございました。  
今後とも木原ゼミをよろしくお願いいたします！



木原ゼミ一同



井上さん

すごい縁だと思うので、これから何年も続けていきたいと思っています。今後入ってくる後輩たちも同じように牟岐町に来て、色んな体験をして、牟岐町を好きになってほしいです。



後山さん

木原ゼミの1期生からお世話になっています。長くお付き合いさせていただいていることがありがたく、お互いのいろんな歴史を刻んでいっているなど思っているので、これからもよろしくお願いします。



大西さん

大学卒業後のファーストキャリアが全てではないと思ってください。僕も50歳を過ぎて、牟岐町というふるさとができたように、人生はなにがあるか分からないので、なるようになって、前向きに生きてほしいなと思います。

こちらこそありがとうございました。  
今後とも木原ゼミをよろしくお願いします！



木原ゼミ一同



木村さん

プライベートで牟岐町に遊びに来てほしいです。そして自然や食材、人に触れ合うことで、牟岐町と関わることがもっと楽しくなると思います。それらを経て牟岐町をもっと好きになってほしいと思います。



正路さん

昨年からJAと関わっていただき、加工品を京都で広める活動などをしていただいております。また、これからもぜひ牟岐町と関わりを持っていただき、就職後も牟岐町に来ていただきたいなと思っております。そしてゼミの方でも引き続き牟岐町にご協力していただけたらと思います。



中山さん

まず牟岐町にご協力いただきありがとうございます。皆さんのやりたいことを今後も聞いていきたいですし、牟岐町から何かお願いしたいときには一緒に相談しながら前に進んでいけるような関係性をしっかり築いていきたいと思っております。そして自分たちにとっての「ふるさと」というような感じでぜひまた遊びに来てほしいと思います。

こちらこそありがとうございました。  
今後とも木原ゼミをよろしくお願いいたします！



木原ゼミ一同

そろそろ、ゆったり落ち着きたい。実際に経験された移住のリアルを、そして牟岐暮らしを紹介！

# Mugi × immigration

先輩移住者をインタビュー！移住で新たな人生を。

INTERVIEW



移住者インタビュー  
**家中 伴樹さん**  
牟岐町役場職員

今回はゼミ活動に牟岐町役場職員として、そして牟岐町に訪れる際などはプライベートでも大変お世話になっている、家中 伴樹さんに先輩移住者として経験談をインタビューさせていただきました。インタビューアーの木原ゼミ4年の太田と家中さんの地元は隣の中学校で非常に近く、移住前の環境は共通する部分もあり、非常にリアルな移住体験談をお聞きすることができました。都会から地方への移住、不安も多くあり踏み出せないという方、そして牟岐町で暮らすことに興味がある方の参考になると幸いです。

家中さんの1日

|    |      |                |             |                  |       |       |            |
|----|------|----------------|-------------|------------------|-------|-------|------------|
| 平日 | 7:30 | 仕事             | 12:00~13:00 | 仕事               | 17:15 | 18:30 | ご飯<br>風呂   |
| 休日 | 起床   | 子供と遊ぶ<br>公園で散歩 | 昼食          | 子ども<br>と昼寝 14:30 | 釣りや育児 | 釣り    | 就寝<br>Etc. |

**Q. 自己紹介をお願いします。**

家中岸樹です。現在は、牟岐町役場に入庁して、出向で牟岐町の教育委員会で学校教育の担当をしております。

**Q. 移住のきっかけは？  
(大阪→牟岐)**

元々自分は、大阪で小学校の教師を目指して大学に入りました。ただ、小さい頃から、父親に連れられてこの牟岐町に来ていました。それで、地域の祭りであったりとか、地域の人と会話しながら、田舎暮らしって結構楽しそうだなって漠然と思っていたので、田舎暮らしに憧れを持っていました。結局、小学校の教員を目指しているうちに、自分には合っていないと感じることもあったので、小さい夢であった、田舎暮らしってところで牟岐町に来ました。

**Q. ということは小さい頃からお父様の影響で、牟岐町とは関わりがあったんですね？**

そうですね。父親は牟岐町がふるさとなので、幼稚園生から小学生、中学生ぐらいまでは、主に夏休みに来て、山とか海とか川で遊んでいましたし、よく連れてきてもらっていました。

**Q. 僕たちのように牟岐町と関わらせていただいて、自然や牟岐町の方と触れ合っていく中で、牟岐町に移住してみたいなと思う方もいると思います。しかし不安も大きいはずで、最終的に移住に至った覚悟や決め手になった部分はありましたか？**

うーん、覚悟か。実は、特に覚悟をもって牟岐町に来たわけではなかったです。さっきも言ったように、教員という道を諦めて田舎暮らしが楽しそうだと感じたから、牟岐町に来たということが正直あった。決め手と

いうのは、自分は小さい頃から牟岐町に来て、自然の中で遊んできたというところが、大きかった。それから、大阪の友達にその話をしても通じないところがあって、自分子どもが生まれた時にこういう自然体験をさせた上で、感受性豊かに育ってほしいなと思ったことも1つの決め手になったかなと思います。

**Q. 実際に移住されて、プラス面マイナス面も両方、感想を聞かせてください。**

移住して良かった点は、やっぱり地域の人とのつながりが強くなっていったこと、大阪では、近所の人とは付き合いがあっても、道が違えば全く知らない人ということもあるんですけど、こっち（牟岐町）に来ると、知り合いばかりというような状況だったので。



そうですね、さっきスーパーに行った時でも、本当に皆さん知り合っているような感じでしたよね。びっくりしました。

昔から知っていたおばあちゃんとかと、元気ですか？っていうような会話が出来たりもするし、よそからしたら内輪感が強いような感じもしたりするんですけど、自分は、そんな人とのコミュニケーションは大事だと思っているので、そういった点では、楽しい部分かなと思っています。

デメリット、悪い点かなと思ってるところは、立地がなかなか都心部から離れた場所なので、住みにくい環境ではあるのかなと。役場職員の立場では移住者を呼びたいという気持ちはあるんです

けど、立地が悪かったら（移住者を）呼んだところで苦労させてしまうんじゃないかという思いはあります。

**Q. 移住するきっかけ、決め手で「どんな仕事があるんだろう」と迷っている方も多いと思います。牟岐町ではこんな仕事ができるよ！などはありますか？**

仕事は結局、自分が何をやるかによって違うとは思いますが、自然体験を主に活動してる方がいらっしゃるように、ツアー見学だったりとかの体験をするってなると地方の方が良かったりすると思うんですけど、ただそれをするってなると体力が必要になるので、生半かな覚悟では出来なと思います。あとはもうありふれた職業が多いかなと思います。結局、地方ではどういう仕事が出るかっていうのを、新しい可能性を見つけて出来るのかどうかだと思います。でもそれは入ってみたいと分からないことが多いので、自分みたいに公務員をやり始めたとしても、後に辞めて町のために起業するような方が出てきてもおかしくないのかなと思います。

**移住してみてもどのような職業に就くか、どのような環境を築いていくのかというのは、その人次第であり、楽しみもあるということですね。**

そうですね。今でこそ、もう牟岐町に来て7年目になるんですけど、人間関係が構築されていく中で、あの人がこういうことをしてみたい、この人がこういうことをしてみたいっていう思いが出てきて「自分はそのまま公務員でいいのかな」って考えたりすることもあります。でも、そこに踏み入れる勇気があるかっていうのはその人次第なので。今の自分は、そこまで頑張れる自信はないので、公務員として町を支えていくっていう立場でやっています。

**Q. 子育ての環境の面で、良い面でも悪い面でも都市部とは違う点があると思うのですが、牟岐町だから出来ることはありますか？**

都会でも、田舎でも言われるんですけど、周りの目があって子どもが何かしているよっていう監視社会っていうのが今の若い人からしたら嫌がられる一因ではあると思います。しかし子どもを持つ親世代からしたら、どこどこに寄り道してたよ、危ないところ行ってたよって聞くだけでも違ってきたりすると思うので、その部分は良いなと思います。あと、遊ぶ場所がないっていうことをよく聞くんですけど、そうではなくて、海とか山とか川に行った時に、そこで何をどうやって遊べるか。例えば杉の実とかを拾って杉鉄砲を竹で作ったり、そういうことは、自分が経験したことを子どもにも経験させることが出来る。遊具があればそれで遊べるかもしれないけど、自分で遊びを創り出していくっていうこともできるということです。



**遊具やおもちゃなど、与えられたものであれば、それだけで遊ぶというのをやるけど、逆に言うとももない状態だったら、その環境、場所での遊び方をいろいろな人が見つけるから、どんどん増えていくし、創造力も豊かになるんですね。**

楽しいか楽しくないかは、その子によって違うかもしれないけど、親が考えて遊ばせることが出来るのかどうかという考えはあります。

**お話を聞いてたら、都市部よりも子育ての環境が良いと思う部分も多いですね。**

でも悪いところもあるよ、挙げるとしたら、立地の悪さ、また商業施設の少なさ故に買い物に行くってなったら、車で1時間くらい走らないと、物を買う場所がなかったりする。そうなったときに、子どもを長時間チャイルドシートに乗せるっていうのは小さいうちは厳しかったりするので、不便に感じます。

**都市部に住んでる自分としてはそういった環境で子育てをしてみたいと思う部分がたくさんありました。**

**Q. 都市部から牟岐町（地方）への先輩移住者として少しでも移住に興味があるという方に対してメッセージやアドバイスはありますか？**

メッセージというよりもアドバイスになりますが、自分の人生で大事にしているのが、人と対話することです。というのも、やっぱり結婚するにしても、誰かと仕事をするにしてもその人のことを分らないと、その人がどういう風に考えているかが分かってこないんで、会話をすることによって止めないように生きていってほしい。牟岐町では特に必要になってくる部分なので、そこに飛び込むかどうかは自分次第だと思います。頑張ってもらえたらと思います。



**Q. 相対的に見て移住して良かったですか？**

自分は良かったと思います。やっぱり、自然1つをとっても、空、山を見ることが増えてきた

ので、感受性が豊かになったのかなと思います。また、自分は田舎が好きなので、デメリットはあんまり見えないのかなと思います。

**実際ゼミで関わり、またプライベートでも年に1、2回しか来れない中で、牟岐町に来たときに、仕事とプライベートの境界線を感じさせないほど楽しそうに生活されていますよね。都会でいろいろなことに追われての生活とは違った、牟岐町ならではの良さがあるなと思っていました。**

みんな土日休みたいって思うかもしれないけど、土日も協力してくれる方がいる中で自分だけがそういうわけにはいかない。実際に来てくれる皆（木原ゼミ生）と話すことも自分の中では大事な対話の1つなので、ぜひこれからも一緒に話していけたらなと思います。

**牟岐町に住んでおられる方、移住して来られた方、みなさん牟岐町が好きということに理由があり、人が温かく、食や自然など環境も良いからこそ、こうして帰ってくる方がおられるということですね。**

自分たちはゼミ活動としてはもちろんですが、今回はプライベートとして来させていただいて、すごく楽しい日々を過ごせています。みなさんも是非、牟岐町に遊びに来ていただいて、全力で楽しんでみてください。

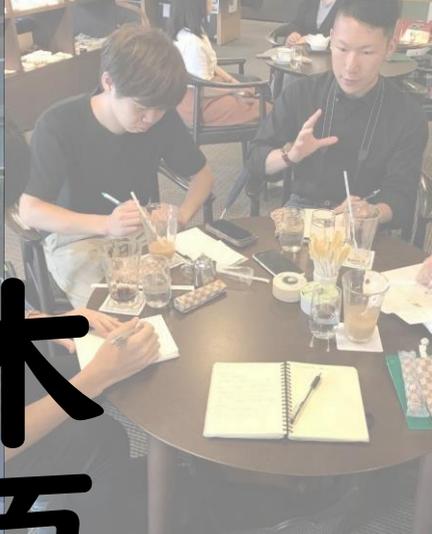
本日はたくさんのお話、ありがとうございました。

ありがとうございました！

## 移住関連情報

牟岐町役場 企画政策課  
移住担当

Tel. 0884-72-3420



# 木原ゼミ

# の歩み

| 2018 | 2017年<br>12月  | 3月   | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月   |
|------|---|--|---|---|---|---|--|
| 木原ゼミ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1期生初顔合わせ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼミサポーター田村篤史さんとの顔合わせ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・鍋パーティー</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファシリテーション講習(他ゼミとチーム作りを学ぶ)</li> <li>・カテーナドリンクス始動</li> <li>・LoVitaプロジェクト取り組み開始</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初！オープンキャンパスでゼミ紹介</li> <li>・円城新子さんのインタビュー研修</li> <li>・Instagram開設</li> <li>・Twitter開設</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・LoVitaプロジェクト</li> <li>・サイト制作開始</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み</li> </ul> |

3月

・春休み

2月

・調査研究レポート(冬休み研究レポート)完成  
・Lo Vitaプロジェクト3  
・ワカモノローカルナイト

1月

・成美弘至さんインタビュー  
・ゼミ合同報告会

12月

・年末反省会2018  
・第1回カテーナドリンクス 清水大樹さん  
・UZUMASA KANBAN GIRL 概要説明  
・ゼミ紹介  
・ゼミサイト公開

11月

・Lo Vitaプロジェクト2  
・木原ゼミ初！神山祭出店

10月

・森谷敏夫教授インタビュー  
・浜口さんに会わ「ナイト」(カテーナドリンクスプレ企画)

9月

・調査研究レポート概要説明 テーマ「日本の移住政策について」  
・木原ゼミ親睦会で親睦を深め、神山祭のためにみんなで焼きそばを食べる

| 2019 | 4月   | 5月   | 6月   | 7月   | 8月   | 9月  |
|------|--|--|--|--|--|---|
| 1期生  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分ごとプロジェクト開始</li> </ul>                                  |  |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「始まっていない人のための就活セミナー」開催</li> <li>・2019年度調査研究レポート概要説明</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・牟岐町インターンシップー</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年度調査研究レポート完成</li> </ul> |
|      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○初ゼミ</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ゼミ合宿@滋賀</li> <li>○平成最後の鍋パーティー開催</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○La Vitaプロジェクト4</li> </ul>                |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○牟岐町地域行事体験プログラム</li> <li>○La Vitaプロジェクト5</li> </ul> |   |
| 2期生  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2期生加入</li> <li>・UZUMASA KANBAN GIRL meeting 1</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・太秦初訪問</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・UZUMASA KANBAN GIRL meeting 2</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・UZUMASA KANBAN GIRL meeting 3</li> <li>・UZUMASA KANBAN GIRL meeting 4</li> </ul> |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・太秦撮影所訪問</li> </ul>          |
|      |  |  |  |  |  |   |

10月

11月

12月

1月

2月

3月

・春休み

・牟岐町インターンシップ2

○La Vitaプロジェクト7

○3期生初顔合わせ

○3ゼミ合同成果報告会

・227プロジェクト

○オープンゼミ

(227プロジェクト)

・ひとつむぎとキックオフミーティング

・魅力発見イベント！**三太泰**

○La Vitaプロジェクト6

○プロジェクト演習説明会

○神山祭（1期生は展示、2期生は屋台）

・UZUMASA KANBAN GIRL 取材

次年度、2020年度からは2学年合同でプロジェクトを行っています。

| 2020<br>(2、3期生) | 4月  | 5月  | 6月   | 7月  | 8月   | 9月  |
|-----------------|---|---|--|---|--|---|
| 木原ゼミ            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・初ゼミ</li> <li>・コロナについて調べる</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・La Vitaプロジェクト8</li> <li>・徳島プロジェクト説明</li> <li>・大西浩正さんとの顔合わせ</li> </ul> |  |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・La Vitaプロジェクト9</li> <li>・大学説明会でゼミ紹介</li> </ul> |   |
| 防災              |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回インタビュー</li> </ul> |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回インタビュー</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・記事作成開始</li> <li>・第3回インタビュー</li> </ul> |
| 観光              |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光資源の調査</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・(農業・ファンクラブ)班を2つにわけ</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書作成開始</li> </ul>                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書作成</li> </ul>                      |
| 大学生と食           |   |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・食の現状を調査</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの作成</li> <li>・アンケート調査実施</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査報告書作成開始</li> <li>・調査結果集計</li> </ul>          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査分析</li> </ul>                       |

3月

・春休み

・奨励金のための発表

2月

・LavitaプロジェクトII  
(オンライン)  
・牟岐みらい会議で最終報告

・報告書作成

・調査報告書最終仕上げ  
・レシピ集原稿完成

1月

・1期生の卒制発表

・最終報告に向けた準備

・報告書作成

・調査報告書最終仕上げ  
・レシピ集原稿完成

12月

・町内で配布  
・インタビュー記事発行

・齋藤君の牟岐町就業体験

・レシピ集の作成開始

11月

・Lavitaプロジェクト10

・記事の訂正作業  
・インタビュー記事仮完成

・中間報告に向けた発表準備  
考える(ファ)  
・ファンクラブの内容について  
企画(農)  
・体験型リモート農業の

・調理実習

10月

・円城新子さんとミーティング

考える(ファ)  
・新しい観光の仕組みについて

・メニュー、レシピ開発

| 2021<br>(3、4期生) | 4月   | 5月  | 6月   | 7月  | 8月   | 9月  |
|-----------------|--|---|--|---|--|---|
| 木原ゼミ            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・組織体制を整える</li> <li>・4期生加入</li> <li>・前年度食班の冊子配布</li> <li>・初ゼミ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・La Vitaプロジェクト12<br/>(オンライン)</li> <li>・企画交流部主催親睦会</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・バナナ命名</li> <li>・オンライン合宿</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの班にわかれて活動開始</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み</li> <li>・La Vitaプロジェクト13</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回企画交流部主催親睦会<br/>(オンライン)</li> </ul>  |
| 西陣              |  |   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・試食会</li> <li>・候補地探し</li> <li>・物産班として活動開始</li> </ul> |  |   |
| ファンクラブ          |  |   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン販売の案が誕生</li> <li>・牟岐町役場の方への取材</li> </ul>       |  |   |
| コラボ             |  |   |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・こまかいふ牟岐さんに取材</li> <li>・農業班として活動開始</li> </ul>        |  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・梅園さん試食</li> <li>・くずアイスさん試食</li> <li>・お店紹介</li> <li>・円城さんからコラボ候補の</li> </ul> |

3月

・奨励金の発表  
・春休み

・京都西陣マルシェ出店

2月

・牟岐町感謝状授与、柚子植樹  
・Lavitaプロジェクト15  
・つぎにしていってプレゼン(齋藤)  
・ゼミ活動報告会

・京都西陣マルシェ出店

1月

・合同ゼミ発表会

・(予約販売で1か月)  
オンライン販売開始

・(オンライン)  
梅園さん、牟岐町との会議

12月

・旅のマーケット出店  
・就活サポート(川中一樹さん)  
・竹村商店焼き芋

出店  
・スペースたて手作り百貨店  
・京都西陣マルシェ出店

・旅のマーケット出店

11月

・牟岐町産業祭  
・Lavitaプロジェクト14  
・牟岐町合宿

・京都西陣マルシェ初出店

・オンライン販売準備

10月

・活動名改名

・マルシェにむけてブース制作  
・京都西陣マルシェ訪問

・オンライン販売準備  
・レシピ作成に向けた調理実習

・旅のマーケットへの参加決定  
・タビノネさん訪問  
・梅園さん訪問  
・ホテルオークラさん訪問

2022  
(秋～  
4、5期生)

4月

5月

6月

7月

- ・京都西陣マルシェ出店
- ・原口君送別会
- ・学部表彰
- ・初ゼミ

- ・京都西陣マルシェ出店
- ・ブチ千両ヶ辻伝統文化祭出店
- ・西陣朝市マルシェ出店
- ・「oVita」プロジェクト16
- ・オープンゼミ
- ・お米のパッケージデザイン取り組み開始
- ・4期生牟岐町合宿

- ・京都西陣マルシェ出店
- ・cafe10PE訪問
- ・パッケージデザイン
- ・西陣散策
- ・大西浩正さん、関目峻行さん、中山拓真さん来学
- ・オープンゼミ

- ・京都西陣マルシェ出店
- ・ラジオ収録
- ・お米パッケージジ発表

木原ゼミ



← 6月 西陣散策

7月 ラジオ収録 →



8月

9月

10月

11月

12月

・むぎにし広場

・La Vitaプロジェクト18  
・牟岐町合宿

・神山祭出店  
・西陣イベント、神山祭準備  
・洛西口高架下見学

・西陣千両ヶ辻伝統文化祭  
・地域活性学会発表  
・5期生加入

・京都西陣マルシェ出店  
・cfeHOPEでゆずスカッシュ販売  
・La Vitaプロジェクト17



↑12/4 おぎにし広場

# ～木原ゼミ メンバー紹介～

【担当教員】 木原 麻子



## 【1期生】

大澤 穂高 友田 紫己 菅原 大輔 田中 里奈  
佐々木 佳乃 福重 真由 大谷 希衣 柴 拓磨 近藤 雅紀

## 【2期生】

井原 明彦  
大河内 千春 太田 大雅  
大橋 宝 田中 諒  
笥 彩華 黒岩 希光





**【3期生】**

伊藤 晃太郎 岡田 和佳奈 齋藤 颯汰 島倉 駿輝 清水 敦司  
谷 夏帆 谷澤 花奈海 原口 遼太郎 山岡 美里 李明豪

**【4期生】**

今村 公紀 今吉 祐貴 陣内 琢巳 平岩 侑馬  
宮崎 智輝 吉田 紅音 若松 咲希 小藪 千奈



**【5期生】**

王本 眞之介 大西 康稀 大見 悠真 津田 直紀 中西 桃香  
中間 優花 原 優香 松田 萌 矢野 遥香 天畠 愛波 西川 志保

# 1 期生



◁ 1 期生の詳しい活動はこちら

——その瞬間、歴史が動き出す

木原ゼミをゼロの状態から立ち上げた1期生。1期生の活動から、今も続いている『La Vita プロジェクト』と自己のキャリア形成を目的とした『カテーナドリンクス』、一人一人がプロジェクトの立ち上げを行った『自分ごとプロジェクト』を紹介。

## La Vita プロジェクト

詳しくは P65 へ▷

様々な生き方をしている人にインタビューして記事を書く La Vita プロジェクト。1期生が何よりも苦労したのは、締め切りまでにきちんと完成された記事をつくりあげること。当初は月1ペースであったにもかかわらず、苦労して書き上げた記事を何度も添削されるため、心が折れそうになることもしばしば。しかし、相手の話を引き出すインタビューの難しさや、読みやすい記事の書き方など、たくさんの学びを得ることができたプロジェクトだった。

## カテーナドリンクス

ゲストを招き、ドリンク片手に語り合うカテーナドリンクス。ゲストは現在「合同会社なんかしたい」の代表、学びの先が見える塾「まなびのさき」の塾長を務められている清水大樹さん。マナビノバ西院教室で活躍されている学生の皆さんもお呼びして、他大学生や高校生との交流の「バ」にもなった。

また、「NPO 法人ひとつむぎ」と合同で「ワカモノローカルナイト」、カテーナドリンクスのプレ企画として「浜口さんに会わナイト」を実施した。

都市部と地元（地方）を行き来しながらキャリアを積んでいる社会人の話を聞く場を設け、「いかに地元と向き合うか」について悩みを持つ若者に考えるヒントやきっかけを作る。

松吉宥介さん、大垣守可さん、山本将也さんの3名に来ていただき、ご自身が今のキャリアを選ぶことになった経緯や思考プロセス、将来的なビジョンなどについての話をお伺いした。



築130年の京町屋「遊子庵」をお借りし、ゼミサポーターでもある浜口桂さんのトークイベント。AI技術の現状やさらなる進歩によって社会がどう変化していくのか、またどのような力が求められるかを、ゼミ生に熱く講義していただいた。

## 自分ごとプロジェクト

1期生が3年次に行ったプロジェクト。La Vitaやカテーナドリンクスといったチームで行うプロジェクトと並行で、1期生1人1人が中心となって行うことを目標に始まった。

1期生の佐々木さんは「始まっていない人のための就活セミナー～今見つけておきたい、自分だけの検索条件～」と題した就活セミナーを、友田さんは「下手くそな絵選手権」を神山祭でするなど、自分が気になることや、やってみたいことをプロジェクトとしてやり遂げた。

# 2期

## 太秦地域活性化プロジェクト

「UZUMASA KANBAN GIRL (UKG) と共に～太秦の魅力発見ツアー～」のイベントを企画。

太秦大映通り商店街でクイズラリーや商店街のお店でランチ、太秦の歴史ビンゴゲーム、UKGのライブ&交流会と太秦の魅力を存分に堪能できるイベントを行った。



## 度重なる壁



太秦プロジェクトでは、本来嵐電内での交流会も軸としていたが、予算や集客的な面で断念。嵐電内でおこなうという斬新なアイデアを進めていたが、現実を突きつけられ、結構なダメージを受けた。また、ランチに使おうとしていたお店がまさかのダブルブッキング。お店側からご飯と他の場所を提供してもらい、なんとか難を逃れた。他にもトラブルはあったそうだが、結果イベントは大盛況。苦難も報われるようなプロジェクトとなった。

## 227プロジェクト

「NPO 法人ひとつむぎ」の学生たちと共に「アンチ大学生生活～考えよう今の自分～」という今一度大学生活で何をしたいのか、何を学ぶ時間なのかについて改めて問いかけ、今の自分を見つめなおすことを目的としたイベントを行うプロジェクト。新型コロナウイルスの影響によりオンラインで行われ、当日の様子はnoteでまとめられている。



### 2 期生不仲説…？

個性が強く、主体性が高い2期生の皆さん。なかなかまとまることも難しく、度々衝突することも。当時のゼミの記録を見るからに戦い合っていた様子があり、2期生の皆さんにヒアリングするのに少し覚悟していたが、当時の様子を笑いながら話してくれた。本気で挑んでいたからこそその衝突であり、今ではとてもいい経験となっていることを聞くと、羨ましさすら覚えた。決して仲が悪いわけではない（念押し）。

# 防災チーム

## 災害の学び、防災意識の向上へ

牟岐町は、太平洋に面しており南海トラフ地震が発生すると津波の被害が出る地域。過去にも津波の被害にあっており、防災対策や防災意識を向上させることが重要である。また、前回の津波被害を経験した人々は高齢となっており、その体験を次世代に語り継ぐことも課題となっている。防災班は、そのような牟岐町の防災を県外の若者の視点から捉え発信すること、牟岐町の人々に防災対策意識を持ってもらうことを目的に活動を始めた。

残念ながら新型コロナウイルスの影響で、全てオンラインでインタビューを行い、それらを防災冊子としてまとめることとなった。インタビュー対象は「牟岐町防災サークル」のみなさん。計3回のインタビューを行った。



### 牟岐町防災サークル

「牟岐町防災サークル」は元教員の上田好美さんらが中心となって、牟岐町の子どもたちと組織された防災活動を行うグループ。子ども達の取り組みを発信することで町の高齢者の方達の防災意識向上を図った。

## 牟岐町防災サークルへのインタビュー

第1回目のインタビューは「牟岐町防災サークル」を立ち上げた上田好美先生。災害被害を最小限に抑えるためにも、まずは災害について「知ること」の重要性を教えていただいた。

第2回目は「牟岐町防災サークル」のリーダー的存在である久京聖くん。活動を通して得たものなどについて伺った。

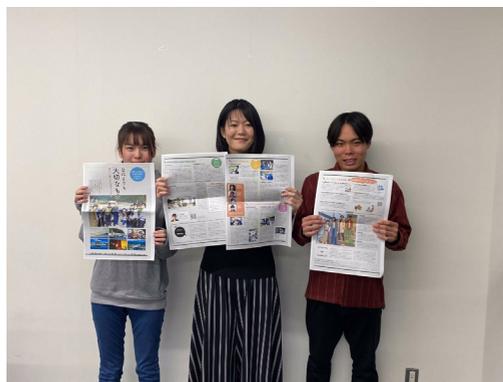
第3回目は「牟岐町防災サークル」のメンバーである中学生5人。高齢者の中には避難を諦めている人も一定数おり、そういった人達も自分達と一緒に避難してほしいという強い想いを語っていただいた。



## 冊子完成



これらのインタビューや牟岐町の人々にやってほしい防災対策などをひとつの冊子にまとめ、12月には町内に配布した。



# 大学生と食チーム

## アンケート調査から理想のレシピ開発へ



このチームは、大学生の食生活の改善につなげることを目標に、メニューを考案する活動を行った。実際に大学生の食生活の実態を調査・分析し、得られた調査結果をもとに、牟岐町をはじめとする徳島県の食材を使ってレシピを開発し、レシピ集を作成した。

はじめに、大学生である私たち木原ゼミ生の視点から、理想の食事の定義づけを行い、その定義に基づいて質問を考えた。そして、それらの質問を7/30～8/6の1週間、大学生及び大学院生にアンケート調査を行い、食育への関心や、食生活・自炊の現状、新型コロナウイルスによる影響について調査・分析を行った。

調査結果として、大学生は栄養バランスを気にしているものの、お金と時間をかけないことを強く重視していることが判明。そのため、この結果から、

- ① 短時間で簡単に作ることができる
- ② 1食あたり400～500円程度で作ることができる
- ③ 1食の中で一汁三菜が実現できる

の3つにポイントをおいて、レシピを考えた。

時短・安価・栄養 この3つが揃わなければコスパ飯とは認めない

——大学生と食チーム

この3つのポイントを実現するために、作り置きやリメイクができる食材を重視し、レシピを考案。その後、掲載するレシピは、実際に調理実習を行い、調理風景の撮影や調理時間の計測などを行った。



最終的に、朝・昼・夜3日間分のレシピに加えて、時間やお金が特にかからないメニューも追加し、『大学生が作った大学生のための簡単レシピ』と題して、冊子にまとめたレシピ集を作成した。

このレシピ集は、大学内で配布するとともに、現代社会学部のオリエンテーションで配布。木原ゼミのSNSのひとつであるnoteにもテキスト化したものを公開した。



△実際のnoteはココ

# 観光チーム

## 現状の分析から新しい観光の提案へ

観光チームでは、関係人口を切り口とした新しい観光コンテンツを提案し、報告書としてまとめる活動を行った。

まず、そもそも関係人口とは何なのかを各々で考え、自分の思う関係人口について発表。関係人口について共通認識を持った上で、関係人口の事例比較を行った。他地域の事例を参考にし、選ばれたのは「地域ファンクラブ案」と「リモート農業案」。チームをさらに2つに分け、牟岐町で実現するには何が必要か、話し合いが本格的に行われた。



## ファンクラブ

牟岐町には「むぎふるさと会」というものが存在しており、登録していれば牟岐町から離れていてもイベント情報などが送られてくる。

しかし、大学生・よそ者目線から見ると、「むぎふるさと会」のメンバーは、「牟岐町に所縁がある方」、「牟岐町に関わりがある方」といったすでに関係性が深い方で構成されている印象が強く、加入することのハードルの高さを感じた。その中で、ファーストステップとして他地域の学生や、牟岐町初心者でも気軽に所属できる組織『牟岐町ファンクラブ』の提案を行った。

### 関係人口とは

「移住した『定住人口』でもなく、観光に来た『交流人口』でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉」  
(総務省関係人口ポータルサイトより引用)

## 農業

観光コンテンツとして「非日常体験」を味わってもらうために、農業に馴染みのない大都市圏の若者をターゲットに定め、グリーンツーリズムと関係人口に着目した『農業体験型観光』の提案を行った。

内容は、牟岐町で生産されている作物の栽培過程と、農業の「楽しさ」「喜び」「過酷さ」を体験できるコンテンツである。スタート（作付け）→中間（除草等）→ゴール（収穫）の3回は現地に入って体験してもらい、その他の時期は気象条件などのデータや現地の画像を共有される。1つの作物の栽培過程を知ることのでられる感動は大きく、牟岐町や協力農家との間に濃密な関係が生まれることが期待される。



関係人口を切り口とした牟岐町における  
新しい観光コンテンツに関する提言

令和2年度 農商地域づくりキャンパス事業  
京都産業大学 現代社会学部 本原ゼミ  
令和3年3月

この内容は、「関係人口を切り口とした牟岐町における新しい観光コンテンツに関する提言」として冊子にまとめられ、2021年2月に行われた牟岐みらい会議で発表。牟岐町の方々からフィードバックを受け、次年度へ繋がる活動となった。

報告書はこちら▷



# 企画交流部

2021年から行われた企画交流部の企画を紹介。  
主に親睦を深めることを目的とした、楽しいプログラムだよ。

## 第1回 5/20(木) ウキウキわくわく親睦会

第1回は、「ウキウキわくわく親睦会」と称し、企画交流部初めての親睦会を行った。

コロナ真ただ中であつたため、オンラインでできるレクリエーションを選定。

イントロドンでは、優勝者には景品が贈呈されるということもあり、白熱した戦いが繰り広げられ、大盛り上がりで幕を閉じた。

行った企画：共通点ゲーム、お家であるものしりとり、イントロドン



### 我々からの 試練を与えよう

原口を抜いたければ、  
これから出す四つ試練を解いてみせよ。

問題の答えが  
放を示すヒントになるだろう。

## 第2回 9/22(木) 新学期前の Party Night

第1回の評判が良かったことから、なかなかのプレッシャーを感じながらの第2回親睦会。

第2回ではシンプルなゲームに加え、協力しながら挑める「リアル脱出ゲーム」を行った。今回は早押しクイズで景品を用意し、先生と千奈ちゃんが一騎打ちする波乱の展開。

激戦の末、千奈ちゃんが勝利をもぎ取った。

行った企画：リアル脱出ジオゲッサー、ワード落とし、早押しクイズ

## 第3回 4/28(木) ありがとう原口、さよならの代わりに

第3回は、初の対面企画。3期生である原口くんが5月から留学に行くため、送別会を兼ねて行われた。

内容は、対面でできることを存分に。流行りのカードゲームやジェスチャーゲームをして楽しんだ。最後には、全員で原口君の似顔絵を描き、笑顔で見送った。

行った企画：なんじゃもんじゃ、はあっていうゲーム、ジェスチャーゲーム、似顔絵プレゼント



# 西陣チーム



## 特産品を通して、京都と牟岐をつなぐ

西陣チームは、「牟岐町魅力発信プロジェクトin西陣」と題して、牟岐町と西陣両地域の方々と関わり合いながら牟岐町の魅力を京都で発信している。コロナ禍で牟岐町に訪れることが難しくなった時期に、大学のある京都をフィールドに新たな活動を見出した。その後、西陣 connect を拠点として、この場所で開催されているマルシェへの出店や、西陣地区の様々な場所でのイベントに参加している。



最初は西陣 connect や町家学びテラスに通い、様々な方と交流をしながら自分たちの活動方針を考えた。何度も足を運んで交流を重ねることで、自分達がゆっくりと地域に浸透していくのを感じた。



## 11月、ゆずと共に活動も実り…



マルシェをはじめ地域のイベントに参加し特産品である実生ゆずを販売するだけでなく、ゆず絞り体験をしたりゆずスカッシュにして販売したりと、様々な方法でゆずの魅力を発信している。マルシェには地域の方や牟岐町に所縁のある方が来てくださり、活動が実を結んだのを実感した。

## その他の活動



◁2022年2月「次の西陣を作る交流会～つぎにし～」にてプレゼン



◁スペースたて680の手作り百貨店にも出店



◁千両ヶ辻伝統文化祭でも牟岐町の魅力を発信



◁2022年9月横浜で行われた地域活性化学会で発表

# ファンクラブチーム

## 牟岐町の特産品を全国へ

ファンクラブチームでは、牟岐町外での購入がなかなか困難だった特産品を全国へ広げるため、オンライン販売を目標とした。



ターゲット層は、牟岐町外にいる所縁のある人や同年代の学生。西陣チームとの兼ね合いから、マルシェのリピーターもターゲット層として定めた。

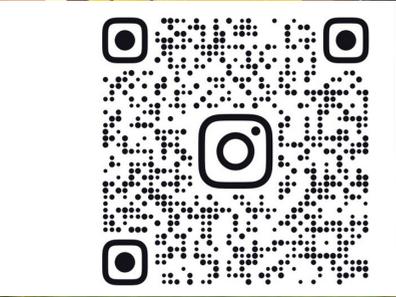
まず、何をどう売するのか、梱包問題など牟岐町の方と細かいすり合わせを経て、オンラインショップの方針を決定した。

### 準備→販売

その後広報のために、11月にインスタグラムアカウント「牟岐町ファンクラブ」を開設。特産品の紹介や、レシピを載せるために試食会を行い、自らで新しい使い方やレシピを模索した。

購入してくれた方向けに感謝の意を込めて、オンライン販売の概要や背景、レシピなどを掲載した商品の同封パンフレットを作成し、オンライン販売に向けて着実に準備を進めていった。

満を持して1月からオンライン販売が実施され、1カ月の期間で行われた。



徳島県牟岐町ファンコソコ



# コラボチーム

## コラボを通してゆずの美味しさを伝える

コラボチームの主な活動内容は2つ。1つ目は京都にあるカフェなどとコラボをし、コラボ商品の開発、販売を行うこと。2つ目は京都の岡崎公園で開催された「おいしい旅のマーケット」への出店だ。

### 甘味処 梅園とのコラボ

メンバーは京都にあるカフェをはじめとした飲食店をいくつか訪問し、自分達で営業を行った。活動の結果、京都のカフェ「梅園」さんとのコラボが決定した。何度か話し合いを重ね、2022年の2月から3月までコラボ商品の「柚子と白餡の葛志るこ」を期間限定で販売することが実現した。

これは是非一度食べてほしい



△柚子と白餡の葛志るこ  
実生ゆずの酸味と志るこの甘味が絶妙に絡み、私たちに新たな「和」を感じさせてくれる

### 🍡再コラボ決定!🍡

梅園さんとのコラボ商品は2022年の12月からも再び期間限定での販売が決定した。

## 「おいしい旅のマーケット」への出店

京都のカフェとのコラボを目指す中で出会ったコーヒー専門店「タビノネ」さん。

タビノネさんの提案で、全国から集まった様々なモノたちの販売が行われるマーケットにて、牟岐町の特産品を販売させていただくことになった。



2021年の12月24日と25日の2日間、牟岐町から応援に駆けつけてくださった方々と共に牟岐町の魅力を広めることができました。



# 実生ゆずとは



2021年度の活動の要となった実生ゆず。  
なぜ実生ゆずを推すのか、その魅力を説明します。

## 実生（みしょう）と接木（つぎき）

ゆずは種から芽がでて実ができるまでに18年もの時間がかかります。そこで、一般的には台木に穂木を差し込む「接木（つぎき）」という方法で早く収穫できるようにします。

それに比べ実生ゆずは、自らの根で大きくなるため、とても樹の活力が強く、10mを超える高さになり、実は強い香りと甘みがあります。

## 「幻のゆず」

実生ゆずは、その高い樹高などから生産性が悪く、大きな産地では実生ゆずが接木のゆずに切り替わり、今ではとても貴重なものとなっています。

徳島県牟岐町では、古くから実生ゆずが食文化に溶け込み、樹齢100年を超える樹も多くあります。日本国内、世界の産地においては極めて少なく、その希少性と品質の高さからフランスのミシュラン三ツ星レストランで利用され注目を集めています。



## 実生ゆず果汁

牟岐町産の実生ゆずを100%使用しており、1.5kgの実から1本分しかとれない贅沢な逸品です。

お酒はもちろん、酢飯や酢の物に使えば今までの味が物足りなくなること間違いなし。

# 実生ゆず関連商品

2021 年度で取り扱った商品たちと JA かいふ牟岐の商品を紹介

## ポンジュレゆう

樹齢 50 年以上の実生ゆずと手作りのもち麦みそをブレンドしたドレッシングにも使えるポン酢です。お豆腐やサラダ、お刺身などどんな食品にでも合い、使いやすい商品です。



## 母あちゃんマヨ

実生ゆずともち麦みそから生まれたマヨネーズです。老若男女問わず、誰からも愛されるまろやかで優しい味が特徴的です。サンドイッチやアジフライ、カキフライなどにお使いいただくのがおすすめです。



## 実生ゆず茶

程よい甘酸っぱさとゆず皮のほろ苦さが魅力。

お湯・冷水や紅茶・お酒に混ぜて飲むだけでなくパンに塗ったりヨーグルトにも合わせやすいジャムタイプです。



# ブレンド米パッケージ デザインコンペ

想いをこめて  
いざマイる

2022年5月の合宿でゼミ生が植えた  
牟岐町のお米。

このお米のパッケージを木原ゼミ生が  
考案し、JAかいふ牟岐と木原ゼミのコ  
ラボ米として牟岐ふるさと会の方々の  
元へ届けることとなった。



A案



牟岐町の人々のあたたかさを表しており、下部には木原ゼミ生と牟岐町の方々をイメージ

B案



木原ゼミと牟岐町の運命的な出会いを赤い糸で表しており、夜空に浮かぶ星を稲穂で表現

C案



木原ゼミ生が実際に訪れた牟岐町の風景を詰め込み、手に取った人が牟岐町を思い出せるようにデザイン

## コンペ開催

各チーム考えたデザインの説明を動画にし、  
牟岐町の投票会場で上映された。



投票の結果…

選ばれたのは  
**C案**でした



完成したブレンド米  
パッケージの贈呈式を  
行い、その後みんなで  
一緒に記念撮影をした。

2022年12月のイベント  
「むぎにし広場～牟岐×西陣スマイル  
化計画～」にて完成したブレンド  
米の試食販売を行った。



# La Vita

.....ラ・ヴィータ  
2018～2022

イタリア語で「生活」、「人生」を意味する“La Vita”。その名の通り、このプロジェクトでは、ゼミ活動の中で出会う人々の多様な生き方をインタビューしている。

インタビューを決めるのも、アポイントを取るのも学生自身。自分達が話を聞きたいと思った方にインタビューをし、記事を作成する。作成した記事は、「株式会社 union.a」さんが発行するフリーマガジン「おっちゃんとおばちゃん」に掲載中。

インタビューにご協力  
いただいた方々

- Vol.1 田村篤史さん
- Vol.2 小松明美さん
- Vol.3 土山久美子さん
- Vol.4 のむらまりさん
- Vol.5 神山幸久さん
- Vol.6 藤木和子さん
- Vol.7 安斎稔さん
- Vol.8 谷口キヨコさん
- Vol.9 菊岡美紀さん
- Vol.10 木原麻子さん
- Vol.11 大西浩正さん
- Vol.12 竹野智之さん
- Vol.13 岩崎美佐さん
- Vol.14 細見和美さん
- Vol.15 関目峻行さん
- Vol.16 横山恵さん
- Vol.17 磯村明見さん
- Vol.18 山田梨世さん



△おっちゃんとおばちゃん

◎就職情報誌「おっちゃんとおばちゃん」Vol.26  
2021年08月26日掲載



◎就職情報誌「おっちゃんとおばちゃん」Vol.27  
2021年11月25日掲載







## 2018年

木原ゼミにとっては初めての神山祭。  
塩焼きそばの模擬店を出店！  
最終日には完売し大盛況となった。

# 神山祭

木原ゼミ

本気のあきない

## 2022年

ゼミ3度目の神山祭！唐揚げと揚げ餃子出店！

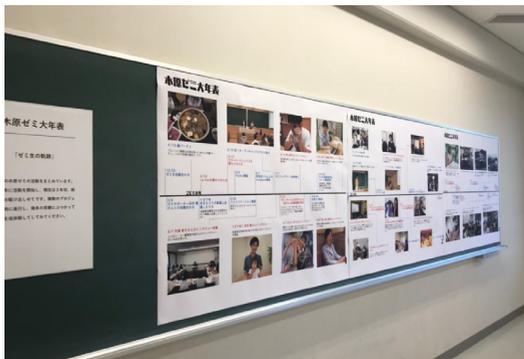
神山祭最安値の唐揚げ（250円）と揚げ餃子（200円）は大盛況。ライバル多数だったが、行列止まず唐揚げは何度も売り切れ。牟岐町の方の協力のおかげで、母あちゃんマヨとポンジュレゆうも提供でき、多くの人に実生ゆずのおいしさも広めることができた。



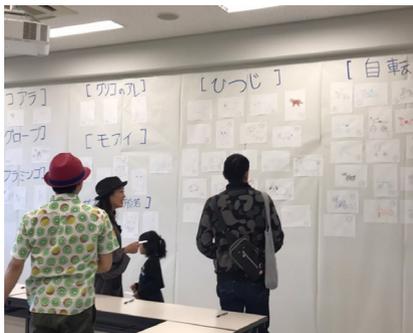
# 2019年

1期生は展示会・2期生は屋台に挑戦！

木原ゼミの展示として、木原ゼミ  
大年表『ゼミ生の軌跡』を作成。  
1期生にとって2回目の神山祭は、  
展示に挑戦。これまでの木原ゼミ  
の活動を年表や記事にまとめ、展  
示した。



▷1期生友田さんによる企画  
「下手くそな絵選手権」



△2期生はレモネード(200円)と  
ホットドッグ(150円)を販売

各々の活動が忙しく人手が足りてい  
なかった2期生は、材料の不足や一時  
的な出店停止など様々なトラブルに見  
舞われながらも、無事黒字で終了！

寒空の下、風邪をひきそうになりな  
がら頑張ったゼミ生もいるほどの、過  
酷な神山祭だったが、お金の大切さや  
分担をすることの大切さがわかる神山  
祭になった。

# 合宿日記



2019年4月 晴れ時々風強し

滋賀の松の浦セミナーハウスにて合宿を行った。この春から木原ゼミ生となった2期生7人との親睦を深めるため1期生が企画。「俺の逸品」では自分が好きでたまらないものを紹介し合ってみんなのことを知った。



2019年8月 晴れ

1・2期生が初めて牟岐町を訪れた。BBQやイベントを通して牟岐町の人との交流を深めた。オクラの収穫体験もして、頭の前からつま先まで牟岐町を感じた。



2021年6月 室内

コロナウイルスの影響もあって合宿をオンラインですることになった。レシピコンテスト・クイズ大会など、とんでもない盛り上がりを見せた。離れていても心はつながっている。そんなことを考えた夜。



2021年11月 晴れ

3.4期生にとって初めての半岐町訪問。  
バスと車で5時間。ついに足を踏み入れた  
私たちのユートピア。実生ゆずの収穫で汗をか  
き、夜は波の音を子守唄に zzz



2022年5月 雨

コラボ米の田植えやパッケージのアイデア出しを  
して、4期生の絆が深まる合宿となった。ニュースに  
も出演。木原ゼミの活動がたくさんの人に知って  
もらえたかも。立派なお米になれば、また収穫しに  
来るからな！

2022年11月 雨のち晴れ

5期生が初めて半岐町に訪れて実生  
ゆずの収穫などを体験した。3期生も  
半岐に到着した後、みんなでコラボ  
米の贈呈式を行い、入れ替わりで3  
期生は半岐町旅行を楽しんだ。いつ  
もあたたかく受け入れてくれる半岐  
町の方々に本当に感謝。



# ～お世話になった方々～

木原ゼミの活動は多くの方々のおかげで成り立っています。様々な肩書きを持つ方と知り合うことができるのも、このゼミの魅力です。このページでは、活動の中でお世話になった方々を紹介します。

## 【木原ゼミ全体】

- ・円城 新子さん(株式会社ユニオン・エー代表取締役)
- ・呉 玲奈さん(株式会社ユニオン・エー)
- ・竹村 知紘さん(移動する竹村商店)
- ・川中 一樹さん

## 【1期生の活動】

- ・田村 篤史さん(株式会社ツナグム 代表取締役・京都移住計画代表)
- ・浜口 桂さん(Co-en代表)
- ・清水 大樹さん(合同会社なんかしたい代表)

## 【2期生の活動】

- ・原田 博行さん(シンガーフォークソングライター&サウンドロゴクリエイター)
- ・進藤 盛延さん(株式会社東映京都撮影所)
- ・UZUMASA KANBAN GIRLの皆さん
- ・太秦大映通り商店街の皆さん
- ・NPO法人ひとつむぎの学生の皆さん

## 【防災】

- ・上田 好美さん(牟岐町防災サークル)
- ・牟岐町防災サークルの皆さん

## 【コラボ】

- ・甘党茶屋 京 梅園さん
- ・株式会社タビノネさん
- ・高山 真優さん(旅のマーケット関係者)

## 【西陣】

- ・西田 勝一さん(スペースたて680)
- ・タナカ ユウヤさん(株式会社ツナグム)
- ・宮武 愛海さん(sampai代表)
- ・関目 峻行さん(shirokuma design hut.)
- ・小宮 結さん(京都産業大学社会連携センター)
- ・京都西陣マルシェの出店者のみなさん
- ・南 進一郎さん(友禅染職人)
- ・相葉 恭子さん(マゴちゃんのつながりっちょラジオパーソナリティ)
- ・山田 真郷さん(マゴちゃんのつながりっちょラジオパーソナリティ)

## 【牟岐町のみなさん】

- ・大西 浩正さん(NPO法人牟岐キャリアサポート理事長)
- ・一山 昌之さん(牟岐町役場)
- ・青木 広大さん(牟岐町役場)
- ・後山 みどりさん(牟岐町役場)
- ・中山 拓真さん(牟岐町役場)
- ・井上 正規さん(専業農家)
- ・木村 悠さん(BLUE HORIZON代表)
- ・正路 進さん(JAかいふ牟岐事務所)
- ・溜口 幸子さん(JAかいふ牟岐女性部部長)
- ・JAかいふ牟岐女性部のみなさん
- ・富田 恵理さん(牟岐町観光協会)

# あとがき

この冊子をつくった3期生からのメッセージです!

①木原ゼミの活動を通して学んだこと

②後輩へのメッセージ



岡田 和佳奈

①木原ゼミに入ってから「協働」することの大切さと大変さを学びました。協働することは簡単ではないですが全員の力が1つとなり、大きなものを生み出した瞬間は何にも変えることのできないほどの感動がありました。

②木原ゼミでは誰しもが輝ける場所や機会が用意されていて、それを活かすかどうかは自分次第だと思うので、失敗を恐れずに様々なことにチャレンジしてほしいと思います! 困ったことがあれば、木原先生や先輩に頼れば優しく助けてくれるはずです!



島倉 駿輝



谷澤 花奈海

①木原ゼミで学んだことは「人との繋がりを大切にすること」です。活動を通して、多くの人に出会い、支え合い、これからも関わりを大切にしたいと感じました。

②木原ゼミは自分の価値観を受け入れてくれる場所だと思います。沢山の価値観の人と出会う事が出来る場所でもあります。その環境を大切に、自分の意見を伝える事を楽しんでほしいです。

①ゼミでは、「人との関わり方」や「キャリアの幅広さ」を学びました。そして自分がいかにちっぽけな存在であり、一人では何もできないことを知りました。誰かがいての自分です。肝に銘じましょう。

②これから様々な人たちとの出会いや出来事があると思いますが、流れに身を任せて思いのままに楽しんでみてください。睡眠がなによりも大事。ふぁいと。



清水 敦司

①木原ゼミで学んだことは人と人の連携、協力、考え方の交換です。このやり方の自分らしさを見つけることも大きな一つです。

②木原ゼミでいろんなことを経験してください。必ず人生には意味があると思います。そして、木原ゼミで自分がやりたいことをやったほうがいいです。ここにしか出来ないことがあります。



李明豪



齋藤 颯汰

①ゼミに入って3年間、たくさんの人に出会ったこと、自分について悩んだこと、何かに挑戦したこと全てが良い経験でした。協力して活動する中でたくさんの壁もあったけど、それを乗り越えるためにみんなで頑張ったことは大きな学びになりました。

②気になることにはどんどん関わって、たくさんの人に出会ってみてください。困った時は助けてくれる人がいるので、安心していろんなことにチャレンジしてください。そして自分だけの物語を作ってみてください。応援しています！

①木原ゼミの活動を通して、自分達の手で何かを作り上げる大変さと達成感を学ぶことができました。うまくいかないこともありましたが、それも含めて良い経験になったと感じています。

②木原ゼミではゼミの仲間や先生だけでなく、大学外の多くの人と関わることができます。大変なことはたくさんあると思いますが、出会いを大事にしながら頑張ってください！



山岡 美里

①ゼミを通してたくさんの方たちと出会うことで、自分自身の視野を広げることが出来るというのを学びました。また、みんなで協力してひとつのことを成し遂げる達成感を得ることが出来ました。

②木原ゼミは、自分の行動次第でいろんなことにチャレンジ出来ると思います。だからこそ、積極性を大切にしてほしいと思います。仲間と協力しながら頑張ってください！



谷 夏帆

①ゼミ活動を通して、たくさんの人に出会い多様な価値観に触れることができたことが大きな学びとなったと思います。多くの出会いの中で自分が理想とする将来はどのような姿なのか、常に考えながら活動に取り組めたと思います。

②木原ゼミは自由に活動ができる故に「この活動は一体誰の為になるのか。」という点が曖昧になりがちだと感じました。自分たちの活動がどんな貢献につながるかという点を頭の隅に入れながら、楽しく活動してもらえたらと思います！



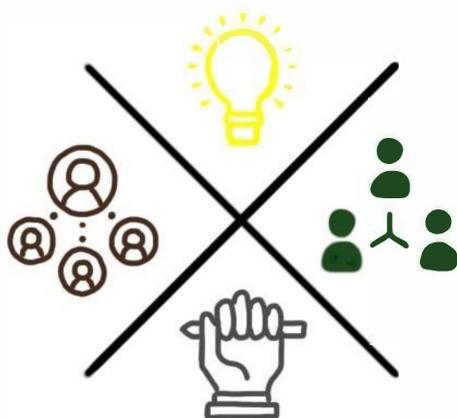
伊藤 晃太郎

①木原ゼミで学んだことは、「チームで物事を進めることの難しさ」、そして対外関係では、「繋がりができた人を大切にすること」です。学生だからと甘えずに、関わってくださっている事にまず感謝、そしてその人が何を求めているのかを考え、全力で行動することが重要！

②とにかくチャレンジ！不可能なんて考えず、誰にもできないことを成し遂げてください！それはゼミに関わらずです。全力でやれば必ず人はついてくるし、絶対に楽しく有意義な活動になります。あと、牟岐町は良い人たちばかりです。失敗を責める人なんて誰もいないので、本気で向き合ってください！とにかく楽しんでください笑



太田 大雅



# COPULA

## KSU KIHARA SEMINAR

### 牟岐とわたしのプロローグ

京都産業大学木原ゼミと徳島県牟岐町の歩み  
2023年2月発行

発行者：京都産業大学現代社会学部木原ゼミ  
監修：特定非営利活動法人牟岐キャリアサポート

本冊子は「四国の右下」若者協議会の令和4年度  
「県南地域づくりキャンパス事業」により制作しました。